

# 日本外交文書

大正八年 第二冊 下卷

外務省

## 序

『日本外交文書』の編纂公刊が明治年間について完了をみた今日、さらに大正期のわが国外交についての主要な文書を総合的に整理編纂し、これを引き続き『日本外交文書』として系統的に公表する段階となった。

大正期のわが国外交関係はいよいよ多彩となり、その主要な事項には、米国の排日問題の重大化、対中国関係の発展、欧州大戦における参戦、ワシントン会議への参加、シベリア出兵と日ソの復交等がある。本書編纂の目的は、これらの諸事項を機軸として複雑多岐にわたって展開されたこの時代のわが国外交の経緯を明らかにするとともに、外交交渉上の先例とすることのできる案件について、根本的な資料を豊富に提供することにおかれている。

この目的にそい、外務省が保有する大量の大正年間記録のうちから、外交に関する主要な文書、すなわち条約・協定をはじめ外国側との往復文書等を選定して、これを本書に網羅した。

本書がわが国外交の歴史的発展について客観的かつ公正な知識を形成するための資料となれば幸いである。

昭和三十八年十一月

外務大臣官房国際資料部調査課長

## 例言

一、本書に収録された文書の基本は外務省記録であり、その他の文書は、戦災・火災により焼失した記録を補う程度に止めた。

二、これらの文書を編纂してできた本書の各分冊はそれぞれ連続した年代順の叢書を形成するよう差当り次の要領で区分される。

(一) 一般事項

(二) 对中国関係事項

(三) 主として欧洲大戰関係、ワシントン会議関係の各事項

三、各分冊には原則として当該暦年限りの文書が収録され、これらの文書は各分冊において、それらの事項の表題の下に、文書の日付により暦日順に配列されている。

四、本書に収録された文書は原則として原書の完全な再現であり、編纂に当って原書の改変、削除、簡略化等は行なわれていない。

但し、使用漢字については、特別の場合を除いては当用漢字の新字体を用いて差支えないこととした。

五、大正八年の本書は同年中に展開された中国関係事項についての文書を編纂したもので、前記要領により、一般事項は専ら第一冊に、また欧洲大戰関係文書は専ら第三冊に収録した。

なお、各分冊末尾の附録は当該分冊限りの日付索引を掲載したものである。

目次

頁

九 对中国借款善後策ニ関スル件	六五七
一 参戦借款關係	六五七
二 吉会鉄道借款關係	七四五
三 滿蒙四鉄道及山東二鉄道借款關係	八八九
四 吉黑森林金鉱借款關係	九三八
一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ 条約及契約類公表ノ件	九四八
一一 寬城子ニ於テ日中両国軍隊衝突一件	九七六
一二 福州ニ於テ日中両国人衝突一件	一〇五〇
一三 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件	一四四
一四 中国内政關係雜件	一四九四
附 滿洲地方動靜	一五二七

附録 日本外交文書大正八年第二冊日附索引

- 一 中国南北和平會議ニ関スル件
- 二 中国改革借款一件
- 三 对中国新借款团组织ニ関シ米國提議ノ件
- 四 中国ヘノ兵器供給ニ関スル件
- 五 南潯鐵道ニ関スル件
- 六 四洮鐵道關係一件
- 七 中国米輸入交渉ニ関スル件
- 八 中国鐵道國際管理問題一件

(以上上卷)

## 事項九 对中国借款善後策ニ関スル件

- 一 参戦借款關係
- 二 吉会鐵道借款關係
- 三 滿蒙四鐵道及山東二鐵道借款關係
- 四 吉黑森林金鉱借款關係

### 一 参戦借款關係

六二七 一月一日 内田外務大臣ヨリ  
田中陸軍大臣宛

#### 对中国兵器供給問題及参戦借款ニ関スル件

- 附記一 大正七年十二月二十八日筑紫兵器局長等ト岡部  
外務書記官トノ交談覚書
- 二 大正七年十二月二十九日浦陸軍中佐ト岡部外務  
書記官トノ會談覚書

### 政送第一号

支那ニ対スル兵器供給ノ件ニ関シ客月二十六日附住信ヲ以  
テ予テ御打合済ノ在支公使宛往電第一一八二号写及御送附  
置候処其後右ニ関スル東少将宛電訓案ニ付十二月二十八  
日及二十九日貴省係官タル蒲、勝野両中佐ヨリ更ニ御協議

九 对中国借款善後策ニ関スル件(一) 六二七

ノ次第有之候ニヨリ其節右ニ対シテハ篤ト審議ノ上何分ノ  
儀申進スヘキニ付ソレ迄ハ發電方御見合ハセ相成度旨申入  
置キタルヲ以テ右ハ勿論御了承ヲ得在北京武官側ヘノ右様  
御電訓ハ一時御差控相成タルコトト思考致居候処十二月三  
十一日在支公使ヨリ別紙写<sup>(註1)</sup>ノ通ノ來電ニ接シタルガ右ハ或  
ハ何等カノ行違ヒニアラザルヤトモ被思考候得共本件ノ成  
行一応御回示相煩ハシ度尚申ス迄モナク兵器彈藥等供給ノ  
儀ハ目下ノ支那時局並ニ列國トノ關係ニ顧ミ外交上影響ス  
ル所少カラザル義ナルニ付追テ篤ト御協議ヲ了スル迄ハ不  
取敢本件兵器彈藥等ノ交付ハ總テ御差控相成様致度此段及  
御照会候也

註1 日本外交文書大正七年第二册上卷一八四文書

2 左掲ノ附記一

六五七